

第9回嘉麻市こども施策審議会 会議録

1. 審議会等の名称 第9回嘉麻市こども施策審議会
2. 開催日時 令和7年3月5日（水）18:55～19:20
3. 開催場所 嘉麻市本庁舎5階 委員会室2
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
 - （1）委員
会長：垂見 直樹 副会長：安藤 裕子
石井 直彦、深見 隆行、石場 広規、松尾 正和、春口 勇介、靱井 由里子
篠崎 眞由美、土屋 亜樹、大内田 由香、田中 真弓
欠席委員：なし
 - （2）執行機関
子育て支援課 課長 永島 祐樹 課長補佐 山口 宏彰
家庭・教育相談支援係長 橋本 多恵
家庭・教育相談支援係 柴田 きよみ
こども育成課 課長 廣谷 友紀 課長補佐 山本 和代
課長補佐 洞ノ上 敦 保育総務係長 内山 優子
 - （3）調査協力機関
Next-i 株式会社 九州支店 大西 美樹
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8. 議題及び審議の内容
【次第】
 1. 会長あいさつ
 2. 報告事項
 - （1）答申内容の確認
 3. 答申
 4. 市長あいさつ
 5. その他
 6. 閉会
9. 報告事項
 - （1）答申内容の確認
（事務局より説明）
 - 会長

何かご意見等ありましたらお願いいたします。

(意見なし)

では、答申に移らせていただきます。

10. 答申

会長から赤間市長に答申

11. 市長あいさつ

こんばんは赤間でございます。今、会長の方から答申をいただきました。先程言われた通り6月25日から今日まで確か9回審議会を開いていただいたと思います。タイトなスケジュールの中このような計画を作っていただき誠にありがとうございます。

答申書の意見1から5まで読んでいただいているんですが、こどもが元気で育っていけるような、楽しんで生活ができるような嘉麻市を目指し、庁舎内でもですね、こども育成課、子育て支援課だけではなく、教育部局との連携もものすごく大事な計画だろうというふうに感じております。それ以外にも関係するいろんなところと連携を取れるような、組織作りと申しますか、考え方を持って今後この計画に沿って邁進してまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

12. その他

○ 副会長あいさつ

では改めましてこんばんは。つい先ほど挨拶をとわれまして、ドキドキしながらの間過ごしたんですけれども、私この審議会として2点あります。1点は、やはり各専門の方々とご一緒させていただいて、この審議会9回経る中で、あの角度から見られているんだとか、なるほどか思いながらこの審議会に参加させていただきました。やっぱり私、学校の立場からの視点です所以他のところはあまり知らないってところもありましたので、本当大変貴重な経験をさせていただきまして、こども計画の案を作成することができたのは本当皆様のおかげだと思ってます。本当にありがとうございました。

もう一点ですけれども、今回の案を作成するに当たりまして、こどもたちもアンケートで参加させていただきました。今後、嘉麻市のこどもたちも一緒に住みやすいまちにしていこう、あの参画の意識が、これを通して少しずつ芽生えていってほしいなと思っております。今、学校ではふるさとを愛するこどもの育成といたしまして総合的な学習の時間や様々な学習の中で、こどもたちは、もちろん自分の住んでる地域もそうなんですけど、嘉麻市全体、人のことかを通して、今学んでいってる途中です。そういった点でも、このこどもの計画案というところも、私も知りましたので、学校現場でもそういった話をしながら、こどもたちに還元していきたいなと思っております。本当にありがとうございました。

○ 会長あいさつ

若輩ながら会長を拝命し、今日を迎えることができたのは皆さんのおかげと思っております。本当にありがとうございました。

少しだけ私の大学の話をしていただきたいと思いますと思うんですが、今も全国的に保育士を目指す

若者が減っております。これはもう国を挙げて問題となっております。原因はわかってないというのが正直なところで、少子化のペースを上回る速度で保育を志す若者が減ってるっていう非常に危機的な状況にあるのが現状です。大学も短期大学中心にかなり閉校する大学が、学生数の減少で増えてきているという非常に厳しい状況にあります。保育者は、どんなにA Iが発達しようと、おそらく必要な仕事ですし、なくなってはならない仕事だと思うんですが、そういう保育に携わりたいという人が増えるっていうのは、こどもが大人たちから愛情を受けて育ち、そしてまた愛情を与える側に立ちたいという、そういう相互的な関係の中で、学生が増えてきたりするのかなと思ったりしています。本学の学生もほとんどが筑豊地域の方ですので、そういう形で本当に愛されて育つこどもが増えていく、そして嘉麻市のために貢献したいと思うようなこどもが、若者が育っていくっていうことに、そういういい循環ができればいいなと、そういうお手伝いができればいいなというつもりでいつもやらせていただいております。

また、計画がどのように運用されていくのかっていうのは本当にそれぞれのお立場の先生方、委員の皆様方にしかわからない。私、本当に市民ではないので、その部分の不十分なところがあるかと思いますので、また各お立場で感じられたことなど、計画の評価や見直しといったところで、ぜひご意見いただけたらなというふうに思っております。また今後ともどうかよろしくお願いいたします。

1 3. 閉会

1 4. 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 答申書（写）